

オリジナルブランド確立によるECサイトでの販売 地域の雇用、経済活性化への貢献

1959年創業、1967年設立。タオル商品の企画・開発・製造・販売・配送を一貫して行っている。地場産業である「泉州タオル」の製造販売において地域を代表する企業の一社として産地を牽引。タオルの卸、OEM製造のほか、2007年より自社ブランド「hiorie」を確立し、ECサイトを中心にメーカー直販として大きく成長。現在ではタオル分野における大手ECモールサイト(楽天、Yahoo!ショッピング等)の販売において年間賞1位を受賞するなど地場産業の復興を支えるロールモデル企業となっている。

所在地 大阪府泉佐野市上之郷1943
電話/FAX 072-467-0641 / 072-468-0640
URL <https://www.marunaka1959.co.jp/>
代表者 代表取締役 中道 哲

設立 1959年
資本金 1,000万円
従業員数 120人



市場ニーズを捉えた製品開発と流通改革で生み出す付加価値向上

「家族のようにくらしに寄り添うタオルでありたい」というコンセプトのもと、自社ブランド「hiorie(ヒオリエ)」を確立。上質なオリジナルコマ糸を使用したホテルスタイルタオルは1番人気のタオル。毛羽落ちが少なく洗うたびにボリューム感が増すなど付加価値を向上させている。また、市場ニーズを汲み取り「ビッグフェイスタオル」というバスタオルとフェイスタオルの中間サイズを開発・販売し利用者の利便性を高めている。ECサイトで直接ユーザーに販売するビジネスモデルを活かし流通管理も可能な体制へ再構築。他社の追随を許さないコスト対応力と、流通改革から付加価値向上に繋げている。



人気No.1 ホテルスタイルタオル

産地内製造事業者への発注による地域経済活性化への貢献

新型コロナウイルスによるタオル産業・泉州タオル産地へ与えた影響は甚大である。販売自粛や客足の減少を受け、産地自体へのタオル商品の生産依頼も激減。関連加工業者においても同様に依頼が激減。同社の主戦場であるECにおいては、大幅な需要の増加を受けているため、積極的な産地内製造事業者への発注を行うなど、産地全体の基盤維持に貢献。さらに、泉州タオルの販路を大きく広げることで、自社の売上成長だけでなく地域雇用の増加、地域内への製造委託が増加するなど地域全体の経済活性化に繋がっている。



企画から製造・販売・配送まで一貫した自社管理

自社オリジナルブランドの海外でのサービス展開

現在、台湾・香港・マレーシア・米国・イギリスの5地域の現地パートナーへ商品を提供。台湾においては、日本製商品を販売する現地の事業者との代理店契約によりECモールでの販売を開始。事業者の主力商品として台湾国内で「hiorie」の販売を行っている。台湾の主要ECモールにおいて日本製タオルシェアNo.1になるなど人気の商品となっている。また、香港においては、現地SNSツールを駆使した事業者による、「hiorie」の認知度の向上と販売の拡大を行っている。



ECサイトでは毎年売り上げを伸ばしている